※本事業は新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため中止しました。

**令和３年度　教育事業（普及啓発事業）**

**「交流の家通学合宿」～郷土の先人の教えを実践しよう～（９年目）**

## １　事業概要

共同生活を通して、よりよい人間関係の構築や基本的な生活習慣の習得を目指して企画したところ、17名の応募があったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、中止とした。

令和3年度 普及啓発事業

「交流の家通学合宿」

～郷土の先人の教えを実践しよう～

開催要項

1　ねらい　家庭から離れた共同生活の中での生活体験活動を通して、子どもたちの自主性や協調性、耐性等の「生きる力」の基盤となる豊かな人間性やコミュニケーション能力を高めるとともに、基本的生活習慣の定着や規範意識の向上を図る。
また、事業を通して、郷土の先人である矢野玄道・中江藤樹の教えの実践を行うとともに、参加児童や保護者、連携する学校関係者等への「早寝早起き朝ごはん」国民運動の普及啓発を行う。

2　主催　国立大洲青少年交流の家

3　後援　大洲市教育委員会

4　期間　令和４年２月７日（月）～２月11日（金）４泊５日
※原則、すべての日程に参加していただきます。
（塾や習い事等で活動中に外出することはご遠慮願います。）

5　会場　国立大洲青少年交流の家

6　対象　大洲市立大洲小学校　大洲市立久米小学校（大洲南中学校校区）４、５、６年生
３０名程度　※募集人数を超える場合は抽選

7　内容　（１）　主な活動は班単位とし、活動班は男女混合、就寝班は男女別で編成する。
（２）　国立大洲青少年交流の家の教育環境を活用した体験活動を行うとともに、自主学習の支援等の活動を行う。
（３）　毎日のふりかえりの時間に、反省点や改善点を出し合うことで、子どもたちが自主的・主体的に活動できるようにする。
（４）下校してから登校するまでの日常生活に関する活動（入浴、掃除、洗濯、学習、宿泊等）を交流の家で行う。

8　日程（予定）




## ２　事業の目的（ねらい）

家庭から離れた共同生活の中での生活体験活動を通して、子供たちの自主性や協調性、耐性等の「生きる力」の基盤となる豊かな人間性やコミュニケーション能力を高めるとともに、基本的生活習慣の定着や規範意識の向上を図る。また、事業を通して、郷土の先人である矢野玄道・中江藤樹の教えの実践を行うとともに、参加児童や保護者、連携する学校関係者等への「早寝早起き朝ごはん」国民運動の普及啓発を行う。

## ３　企画のポイント

毎日ふり返りの時間を設定し、先人の教えを意識させて反省点や改善点を出し合うことで、子供たちの自主的・主体的な活動を促す。

また、交流の家で日常生活に関する活動（入浴・掃除・洗濯・学習・宿泊等）を行うことで、家庭生活を通して、自分のことは自分でするようになったり、家族の一員として進んで手伝うようになったりするのではないかと考えた。

**４　主　　催**　独立行政法人国立青少年教育振興機構　国立大洲青少年交流の家
**５　後　　援**　大洲市教育委員会
**６　期　　日**　令和４年２月７日（月）～２月 11 日（金）４泊５日
**７　場　　所**　国立大洲青少年交流の家
**８　対　　象**　大洲市立大洲小学校及び大洲市立久米小学校の４、５、６年生
**９　申込人数**　17 名　（募集人数 30 名程度）

（担当：企画指導専門職　徳田　義実）